



みんなの力を合わせて 1. 2. 3

前日の雨で心配された運動会でしたが、終日、秋晴の好天に恵まれ、子どもたちは、日頃の成果を発揮し、健やかな汗を流すことができました。

当日は、早朝から、らいおん組のお父様方にテント張りの作業をお手伝いいただきました。今年はたくさんのお父様方が参加されました。テント張りも慣れたもので、短時間で終了しているように感じます。ご協力ありがとうございました。

本番を迎えた子どもたちの顔も朝日を浴びて、一段と輝いて見えました。

初めて運動会を経験する年少さんは、先生や友達と大きな輪を描いて、跳んだり、跳ねたりと元気いっぱい「ほっぷ・すてっぷ・パラダイス」を踊りました。みんなと協力して、大きな輪を描けたところに、成長の跡を感じました。年少さんは、ジャンプが楽しくて、あっち向いたり、こっち向いたり可愛かったですね。年少さんには、こうした全身の動きを通して、運動会の楽しさを味わわせることができました。



年中さんのパラバルーンも、運動場いっぱいカラフルなバルーンの花が開きました。どうすれば大きな花が開くか、見せ場はどのくらいの時間が必要かなど、練習を重ねるたびに、担任が知恵を出し合い、子どもたちは見事に演じることができました。これは一人ではできません。まさに、皆の協力があつてこそその演技です。年中さんには、こうした経験を積み重ねることで、仲間と協力することの大切さを体感させることができました。



より格好よく、より速く

黒の体操服を着ている年長さんは、これまでの練習の時と違い、やっと身に着け付けられた喜びや年少・年中時代から憧れていた踊りを踊れる喜び、自分達にしかできない自信と誇りに満ちた表情をしていました。ソーラン節の勇壮で軽快なメロディーが、子どもたちの心を揺さぶるのでしょうか。年長さんは、踊りそのものをとても楽しんでいました。

また、年長さんのリレーでも、本番を迎えるまでに、幾度となく、力を合わせる場面が見られました。リレーは、昔から運動会の花形ですから、走る人も見る人もヒート・アップします。しかし、世の中、走るのが速い人、遅い人がいるのは当然です。子どもたちは、友達の力を認め合い、走る順番を考え毎回練習に臨んでいました。練習を重ねるたびに、大方の勝敗が予想されますが、勝敗は時の運もあります。予想しないことが起きますから、ゴールの順番はいつも一定ではありません。力を合わせ気持ちをバトンに託したリレーでした。

天使の歌声に感動

10月2日(月)の記念公演で、アメリカの少年少女合唱団 One Voice Kids の歌声に、多くの方が感動され、楽しまれたことと思います。5歳から17歳までの男女の混成合唱団